

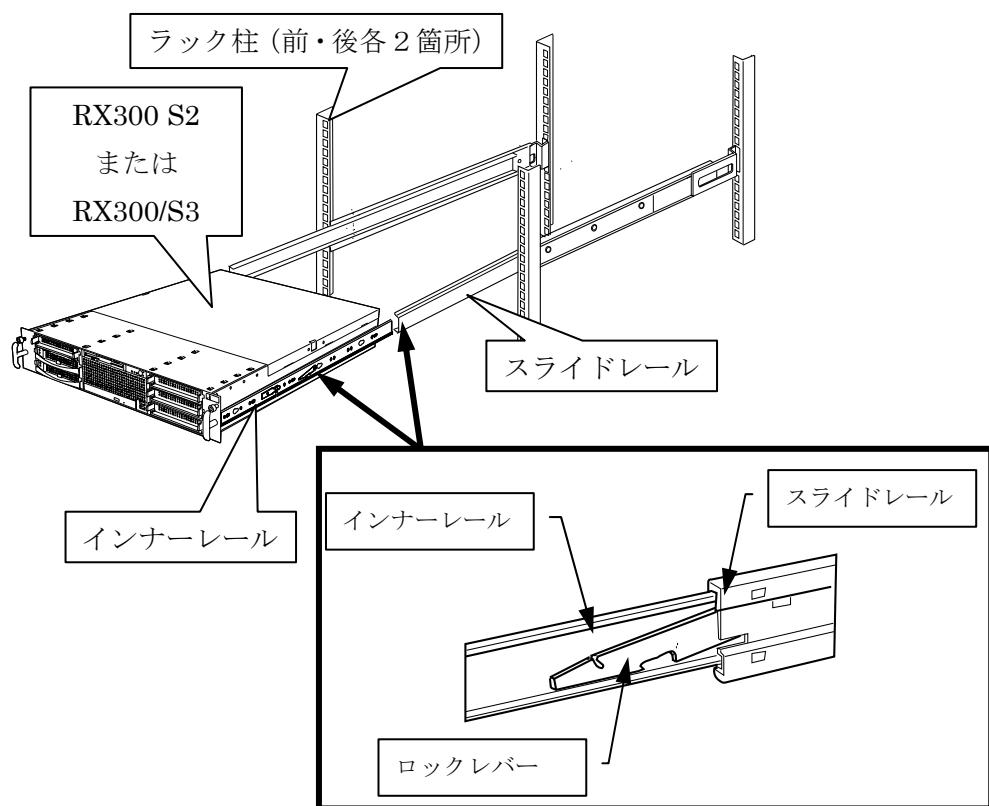
2007年8月
富士通株式会社

PRIMERGY RX300 S2/ RX300 S3/ TX150 S5/ TX150FT S5 にて
発生する恐れのある内容の詳細について

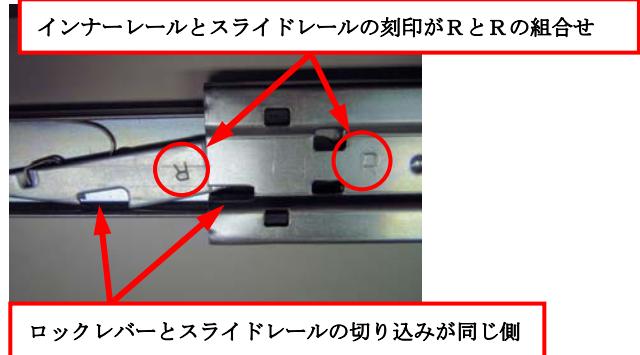
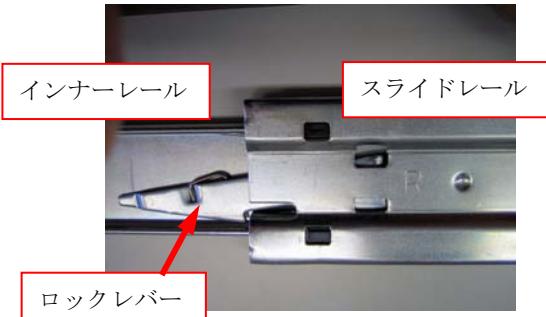
1. 発生する恐れのある事象について

(1) RX300 S2/ RX300 S3 の場合

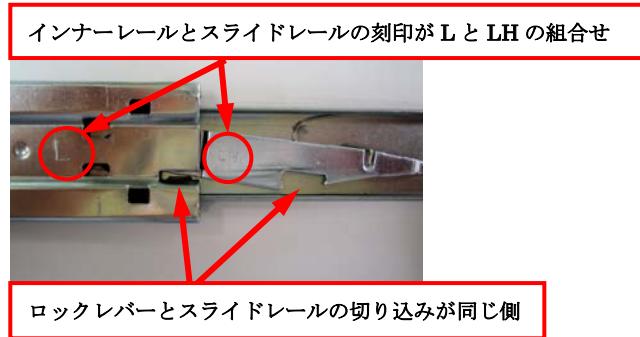
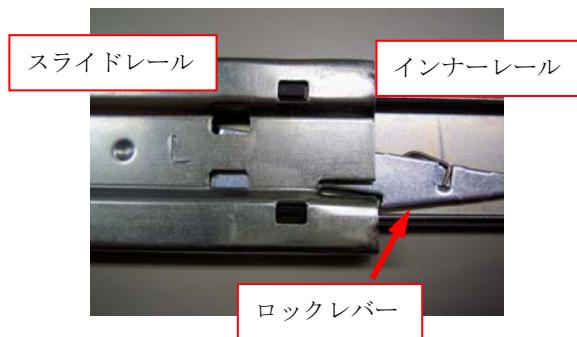
本体に添付のマニュアル『RX300 S2 はじめにお読みください』または『RX300 S3 はじめにお読みください』に記載された手順で、スライドレールからインナーレールを取り外し、サーバ本体にインナーレールを取り付ける際、インナーレールとスライドレールの組合せを左右逆に取り付けると、サーバ本体をラックから引き出す際に、スライドレールのロック機構が機能しなくなります。



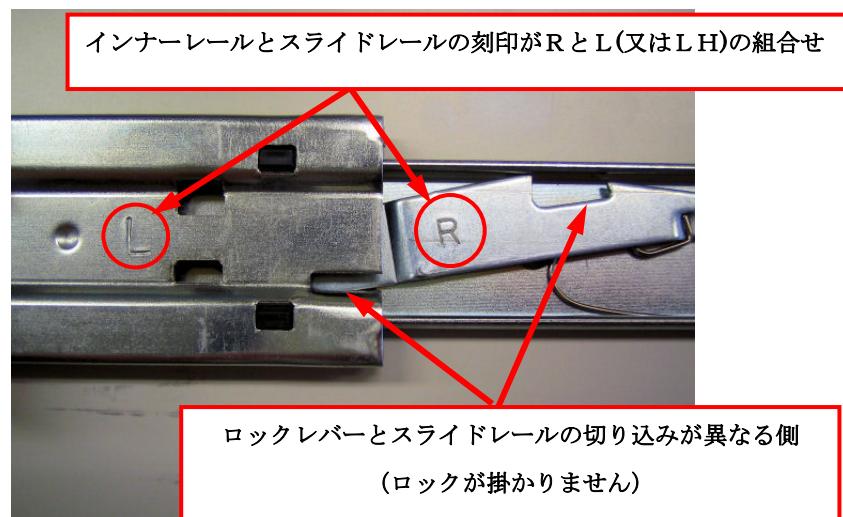
○インナーレールとスライドレールが正しい組合せの場合（その1）



○インナーレールとスライドレールが正しい組合せの場合（その2）



×インナーレールとスライドレールが誤った組合せの場合



(2) TX150 S5/ TX150FT S5 の場合

ラックマウント変換機構 (PR-R1CK21、PGB-R1CK21) に添付の『取扱説明書』または『ラックマウント変換機構を選択された方へ』に記載された手順で、サーバ本体をラックへ搭載する作業を行っていただいた場合は問題が発生いたしません。しかしながら、以下の手順でラック搭載を行うと、上記(1)項と同様にスライドレールのロック機構が機能しなくなります。

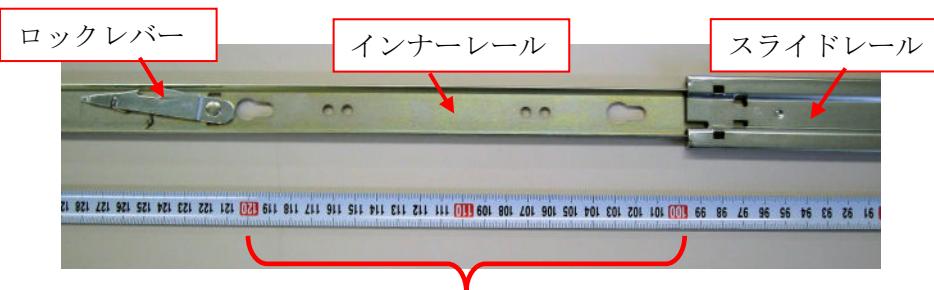
- ① スライドレールにレールブラケットを取り付ける前または後に、スライドレールからインナーレールを取り外す。
- ② スライドレールをラックに取り付ける際に、左右逆に取り付ける。
- ③ インナーレールにサーバ本体を取り付ける。
- ④ インナーレール（サーバ本体）をスライドレールに取り付ける。

2. 当事象によるお客様への影響について

サーバ本体をラックに搭載した状態でご使用になられている間は、装置自体の機能及びシステムに及ぼす影響はございません。

但し、CPU、メモリ等オプションを増設、或いは故障部品を交換する際、サーバ本体のトップカバーを開けて増設・交換作業を行うためにサーバ本体をラックから引き出す場合、或いはサーバ本体を移設される場合においては、各サーバ本体に添付の『ユーザーズガイド』に記載されている様なロックが機能せず、ロックが掛かる位置より更にサーバ本体を引き出すことが出来てしまう場合があります。

下写真の様に、ロックレバーが完全に見えてから約 200mm引き出すと、インナーレールがスライドレールから外れ、サーバ本体が落下する恐れがあります。



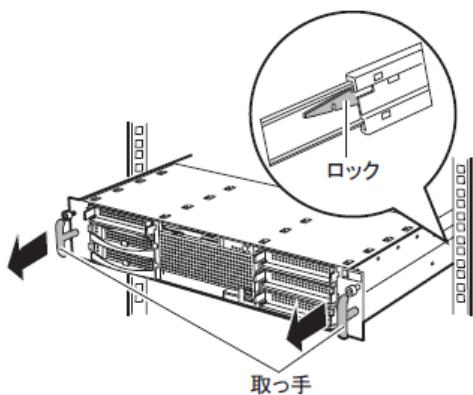
以下、サーバ本体に添付の『ユーザーズガイド』の該当箇所を抜粋いたします。

- ・『RX300 S2 ユーザーズガイド』
- ・『RX300 S3 ユーザーズガイド』

第7章「内蔵オプションの取り付け」 中の 7.2.1 項の 6

6 サーバ本体をスライドさせます。

取っ手を持ち、サーバ本体をカチッと音がするまで手前にスライドさせると、両側のレール部でロックがかかります。



- ・『TX150 S5 ユーザーズガイド』、

第7章「内蔵オプションの取り付け」 中の 7.2.3 項の 4

- ・『TX150FT S5 ユーザーズガイド』

第5章「内蔵オプションの取り付け」 中の 5.2.3 項の 4

4 サーバ本体をスライドさせます。

内側からハンドルを持ち、サーバ本体をカチッと音がするまで手前にスライドさせると、両側のレール部分でロックがかかります。

